

小委員会の調査報告書

教科名	国語（書写）	委員長名 関 谷 克 志
調査研究の経過	<p>1 審議の概要</p> <p>(1) 第1回調査委員会を7月2日（火）に、稚内市生涯学習総合支援センターで開催し、国語（書写）小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。</p> <p>(2) 7月3日（水）から7月21日（日）まで、「教科書見本」、「教科書編修趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。</p> <p>(3) 第2回調査委員会を7月22日（月）に、稚内市生涯学習総合支援センターで開催し、報告書の作成を行った。</p> <p>なお、調査研究した教科書見本の発行者（略称）は、東京書籍（東書）、学校図書（学図）、教育出版（教出）、光村図書出版（光村）、日本文教出版（日文）の5者である。</p> <p>2 調査研究の観点</p> <p>調査研究の観点は次のとおりである。</p> <p>(1) 「取扱い内容」について</p> <p>(2) 「内容の構成・排列・分量等」について</p> <p>(3) 「使用上の配慮等」について</p> <p>(4) 「その他」について</p>	
調査研究に当たった際の配慮事項	<p>次の点に配慮して調査研究を進めた。</p> <p>1 「取扱い内容」について</p> <p>(1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。</p> <p>(2) 知識・技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の発揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容、発展的な学習内容などがどのように取り扱われているか。</p> <p>2 「内容の構成・排列・分量等」について</p> <p>(1) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達段階等に応じて、系統的・発展的に組織されているか。</p> <p>(2) 内容の分量が、各領域等ごと、全体としてどのようになっているか。</p> <p>3 「使用上の配慮等」について</p> <p>(1) 児童の学習意欲を高める工夫がされているか。</p> <p>(2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫がされているか。</p> <p>(3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。</p> <p>4 「その他」について</p> <p>上記1～3に含まれないもので、全体を通じて特色があれば記載する。</p>	
少数意見その他		

様式 2

教科名		国語（書写）				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		東書書籍	新しい書写	2	学校図書	みんなと学ぶ小学校書写
取扱内容	<p>○硬筆については、低学年では文字を見比べ、画の長さや方向の違いを確かめ、中学年では、文字の大きさや字間、行間など配列に気をつけ、高学年では、用紙にあった文字の大きさ、位置など、配列を意識して書く内容となっている。</p> <p>○毛筆については、中学年では、点画それぞれの書き方、字形及び穂先の向き、筆圧に注意して書く活動を、高学年では、点画や文字相互のつながりを確かめる活動を取り入れている。</p> <p>○硬筆と毛筆の関連については、硬筆文字から毛筆、そして硬筆で別な文字を書くということ定着をはかる展開となっており、毛筆の学習が硬筆で書く基礎となるよう構成されている。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、児童が見通しを持ち、友達と教師との対話を通して学び、学んだことを他の文字や生活に生かせるよう構成されている。</p>			<p>○硬筆については低学年では画の長さや方向、点画相互の交わり方、接し方に気をつけ、中学年では、画の長短や文字の中心、文字の大きさや文字の間に気をつけ、高学年では、用紙の上下・左右の余白に気をつけ、配列を意識して書く内容となっている。</p> <p>○毛筆については、中学年では、漢字と平仮名の筆使いの違いや文字の組み立て方を確かめ、筆圧に注意して書く活動を、高学年では、点画のつながりと筆順の関連、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く活動を取り入れている。</p> <p>○硬筆と毛筆の関連については、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を取り入れることで書写の能力の基礎を身につけるよう構成されている。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、授業構成を「確かめて書く」「考えて書く」「生かして書く」に分け、ステップ学習を通して学びにつながるよう構成されている。</p>		
内容の構成・排列・分量等	<p>○内容の構成・排列については、低学年では点画を確かめてから文字や文章の表記へと、中学年では毛筆において、1字の漢字の点画、筆使いから2字の漢字の組み立てや平仮名の筆使いへと、高学年では、点画の組み立てや配列から他の筆記具や用紙に書く等、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については、第1学年～49P（20%増）、第2学年～45P（10%増）、第3学年～57P（16%増）、第4学年～53P（8%増）、第5学年～53P（8%増）、第6学年～53P（8%増）となっている。</p>			<p>○内容の構成・排列については、低学年では点画や文字の形を確かめてから文章表記へと、中学年では漢字の字形を確かめてから平仮名の筆使いや配列について扱い、高学年では穂先の動きと点画のつながりを確かめてから用紙にあった文字の大きさや配列を取り扱う等、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については、第1学年～50P（22%増）、第2学年～47P（15%増）、第3学年～51P（4%増）、第4学年～59P（31%増）、第5学年～53P（18%増）、第6学年～51P（24%増）となっている。</p>		
使用上の配慮等	<p>○課題解決のヒントを与えるキャラクターが登場したり、手紙を書く学習や古文を視写する学習など、国語の学習との関連を図っている。</p> <p>○学習過程をわかりやすく図解した「書写の学び方」を掲載したり、自己評価のための「ふり返って話そう」を設けるなど、主体的に学習に取り組める工夫がなされている。</p> <p>○当該学年の指導事項をわかりやすく説明した「書写のかぎ」を掲載したり、カラーバリアフリーへの配慮やUDフォントを使用するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			<p>○用語の解説をするキャラクターが登場したり、俳句を視写する学習や文学教材を視写する学習など、国語の学習との関連を図っている。</p> <p>○学習過程をわかりやすく示した「学習の進め方」を掲載したり、実際に文字を書き込み自己評価を行う「ふり返ろう」を設けたりするなど、主体的に学習に取り組める工夫がなされている。</p> <p>○巻頭・巻末に学習のめあてや裏表紙に学習内容を一覽で示した「保護者の方へ」を掲載したり、カラーユニバーサルデザインへの配慮やUDフォントを使用するなど、使用上の便宜が図られている。</p>		
その他	<p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>○1・2年生の巻末に水書用紙をつけている。</p> <p>○判型はA B版を使用している。</p>			<p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>○1・2年生にはシールが付属しており、活用することで主体的に学べるようになっている。</p>		

様式 2

教科名		国語（書写）				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		教育出版	書写	17	光村図書	書写
取扱内容	<p>○硬筆については、画の方向や画相互の間や長さ、文字の大きさや行の中心、書き出しの位置や用紙に合った文字の大きさ、行間や上下左右の余白に気を付けて書くこと等を通して、配列を意識した学習ができるようになってきている。</p> <p>○毛筆については、曲がりや折れなど点画の種類や筆の動き、筆圧、穂先の動きや点画とのつながりを意識して書くことができるよう、穂先の通り道を色分けして写真や図で表す工夫をしている。</p> <p>○硬筆と毛筆の関連については、硬筆での「ためし書き」を残して毛筆の学習の後、もう一度硬筆で「まとめ書き」をして見比べる「振り返り」を設定することで、書写の能力の基礎を身に付けられるように考えられている。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、上記の「振り返り」を活用して友達と書字の変化等について伝え合う活動を取り入れやすくしている。</p>			<p>○硬筆については、文字を比べて角の長さや方向の違いを確かめたり、行を整えることを確かめたり、用紙に対する文字の大きさを確かめたりという、自分で確かめて意識して書くことができるようにしている。</p> <p>○毛筆については、漢字と平仮名の筆遣いの違いを確かめる題材や、漢字仮名交じり文言の題材を配置し、点画相互のつながりや穂先の動きを意識して書くよう配慮されている。</p> <p>○硬筆と毛筆の関連については、点画の筆遣い、字形の整え方、文字の大きさや配列等、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付けられるように考えられている。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、リーフレットや新聞記事の構成や書き方を友達と読み合ったり話し合ったりしながら進められるよう工夫されている。</p>		
内容の構成・排列・分量等	<p>○低学年に、水書用紙をつけたり指でなぞり書きができる太文字をページに配置したり、適切に運筆する能力を高めるための工夫が、中学年では、ローマ字・手紙・俳句短歌・ポスター等、他教科領域の学習とつながりやすい題材の設定が、高学年では、筆記用具による文字の違いや小筆文字による作品作り等、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○分量については、第1学年49P（9%増）、第2学年41P（0%増）、第3学年61P（3%増）、第4学年61P（7%増）、第5学年53P（8%増）、第6学年53P（8%増）となっている。</p>			<p>○低学年に「しよしゃたいそう」を掲載し、学習の基礎である姿勢・筆記用具の持ち方を学べる工夫があり、中学年では、部分の組み立て方や筆順、字形を確かめた後、平仮名の筆遣いへと段階的な学習を設定しており、高学年では、穂先の動きと点画のつながりなどを確かめた後に用紙に合った文字の大きさや配列について考えることができる等、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○分量については、第1学年45P（15%増）、第2学年41P（11%増）、第3学年57P（4%増）、第4学年53P（8%増）、第5学年55P（17%増）、第6学年53P（8%増）となっている。</p>		
使用上の配慮等	<p>○「スー」「ピタッ」等の言葉を添えて、運筆リズムを体感しやすくする工夫がある。</p> <p>○題材ごとに「学習の進め方」を全学年で掲載したり、自己評価欄を設けたりするなど、児童が意欲的・主体的に学ぶ仕掛けがある。</p> <p>○UDフォントの使用、レイアウトや判読しやすい配色等、色覚等の特性への配慮がされている。</p>			<p>○毛筆入門期の第3学年に、新教材「たしかめようシート」を設け、キャラクターの体型や動きで運筆の方向を確かめられるようにする工夫がある。</p> <p>○平仮名や漢字の一覧表、筆記用具の持ち方、腕を大きく動かして書く「空に大きく書こう」等を裏表紙に掲載し、使用上の便宜が図られている。</p> <p>○UDフォントの使用や色覚等の特性に配慮した色の使い方等、児童が識別しやすい体裁になっている。</p>		
その他	<p>○「まなびリンク」やQRコードアドレスから、低学年の鉛筆の持ち方の動画や毛筆の運筆動画につながるようになってきている。</p>			<p>○毛筆の筆遣いの他、正しい姿勢や筆記用具の持ち方、「しよしゃたいそう」、アルファベットの書き方等を動画で見られるコンテンツがある。</p>		

様式 2

教科名		国語（書写）				
	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
	日本文教出版	小学書写	116			
取扱内容	<p>○硬筆については、低学年では文字を見比べ、画の方向や接し方、交わり方に気をつけ、中学年では文字の中心の画の確かめや字間、行間など配列に気をつけ、高学年では、用紙にあった文字の大きさや余白に気をつけ配列を意識して書く活動になっている。</p> <p>○毛筆については、中学年では点画の種類を理解し筆圧に気をつけて書く活動を、高学年では正しい筆順、点画のつながりの確かめから、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く活動となっている。</p> <p>○硬筆と毛筆の関連については、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書くことで、書写の能力の基礎を身につけられるように構成されている。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、自分の文字の課題を見つける教材やキャラクターとの対話、題材の選択等を通して、子ども達の自発的な学習が促されるようになっている。</p>					
内容の構成・排列・分量等	<p>○内容の構成・排列については、低学年では点画の書き方や形を確かめてから接し方や交わり方を、中学年では漢字の字形や穂先の向きを確かめてから平仮名の筆遣いを、高学年では字形の整え方や点画のつながり、筆順を確かめてから、文字の大きさや配列について取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については、第1学年～40P（±0）、第2学年～40P（±0）、第3学年～56P（8%増）、第4学年～56P（8%増）、第5学年～52P（±0）、第6学年～52P（±0）となっている。</p>					
使用上の配慮等	<p>○課題解決に向けたヒントを与えるキャラクターが登場したり、本を紹介する学習、提案文を書く学習など国語の学習との関連を図ったりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○学習過程をわかりやすく示した「学習の進め方」を掲載したり、教材ごとに自己評価欄を設けたりなど、主体的に取り組める工夫がなされている。</p> <p>○巻頭に「〇年生の目標」を掲載したり、左利きでも視写しやすいレイアウトの工夫やUDフォントの使用など、使用上の便宜が図られている。</p>					
その他	<p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p> <p>○1・2年生の巻末に水書用紙をつけている。</p>					